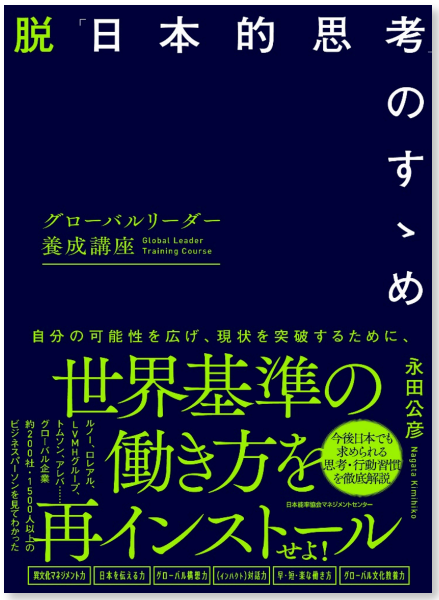
【新刊案内】

脱・日本的思考のすゝめ～

世界基準の働き方を再インストールせよ
（日本能率協会マネジメントセンター）
著者　永田 公彦



Amazon等のECサイト（紙版・電子版）、パリ・ジュンク堂書店で購入可能

在仏25年、企業・公的機関の国際事業経営をサポートするNagata Global Partnersの主宰と大学教員をされている永田公彦氏の新刊について、当会事務局が同氏にインタビューしました。

（事務局）永田さんはフランスの大手企業を中心に数多くの国際企業のサポートや日仏両国の大学でグローバル人材育成教育もされていますね。今回の著書は、こうした経験を基に書かれたのですか？

（永田氏）はい、特に企業向けの仕事ですね。これまで約200社1500人以上の多国籍な企業関係者をサポートしてきましたが、その実践経験と一部の理論から見えてきたことを複数の事例を交え体系的に書きました。

（事務局）企業向けのお仕事とは具体的にはどのようなものですか？

（永田氏）主に欧州企業に対し、日本・アジア進出や日本企業との資本提携後の経営を手伝っています。また一部ですが日本企業の欧州進出や欧州での事業経営もサポートに入ります。ご想像のとおり、こうした国際プロジェクトは、そう簡単に進みません。実際にうまくいかず中止や撤退するケースも多くあります。最大の理由は、関わる人達の文化や価値観、関わる企業間の方針や仕事の進め方、関係国の商慣習や法律など全て異なるからです。ですから僕らの役割はこうした多様性をうまく管理しプロジェクトを成功に導くための伴走者のようなものです。

（事務局）この本はそのような国際的な仕事に関わる企業の皆さん向けですか？

（永田）それだけではありません。職業・年代・性別を問わず幅広い人達です。「これまでの自分、仕事、生活を別の視点から客観的に見つめたい」「将来に向け自分をより高め変えてゆきたい」「より自分の個性を活かし自分らしい人生を送りたい」と願う方々です。また組織関係者では「より抜本的に組織の問題を解決したい」「イノベーションが起き続ける独創的で多様性のある組織文化を築きたい」「世界で戦えるグローバルリーダーを増やしたい」「海外事業経営を効果的に進めたい」などの課題を抱える方々です。こうした皆様に、この本を通じて人生や仕事の選択肢と可能性を広げていただきたく書きました。

日本人会会議室にて

（事務局）ところで、なぜ 今 このタイミングで書かれたのですか？

（永田氏）僕は日本の方々に、より広い視野で個性を発揮し自分らしく生きてほしい。そして、より充足感と自己肯定感をもった人生を送ってもらいたいと願っています。ただ、これまでの日本の社会では、これを実現するのは難しい。これに輪をかけ失われた30年は閉塞感やあきらめ感を増幅させました。僕は、日本はこのままだと「失われた50年」になると確信しています。これは客観的に世界そして日本の動向を俯瞰している中で見えることです。ただ若い人達のためにも、それ以上失い続けてほしくない。20年後の脱却に向け、今が本質の議論と行動を起こす最後のチャンスと考えています。ですから、この本を通じ、同じような考えをもつ人達と繋がり、本質の議論を深め共に行動できればと考えたからです。

（事務局）日本はまだ希望を持てるとお考えですか？

（永田氏）はい持てます。３つのことをすれば、日本は再浮上し、世界から注目され、日本の皆さんの幸福感も今以上に高まります。

（事務局）その３つとは？

（永田氏）この本でそれを示しています。１つ目は、多くの日本人がもつ当たり前の中で、海外ではマイナスに働く、しかも日本衰退の原因でもある「７つの当たり前から脱する」ことです。２つ目は、自分の仕事や人生の可能性を拡げるため、そして自分がいる組織や日本を良い方向に導くために「６つの力を磨く」ことです。この２点について、なぜこれらが必要か、またどうやって脱したり磨いたりできるのかを示しています。3つ目は、10年以上前に書いた「日本人こそ見直したい世界が恋する日本の美徳」という本で詳しく書いていますが、今回の本でも少し触れています。

（事務局）では、その抜け出すべき７つの当たり前と磨くべき６つの力とは何でしょうか？

（永田氏）細かく話すと１日かかるので、簡単に言うと次の図にある項目です。

「7つの当たり前」からの“脱却”

① 肩書が必要
② 成功者＝富や名声を得た人
③ ルールに従い続ける
④ 知らぬは恥、間違うも恥
⑤ ノーと言うのは良くない
⑥ 空気を読める人＝できる人
⑦ お上や他者がやってくれる

「6つの能力」を“磨く”

① 多種多様な文化をもつ人達と共存共栄するために必要な力
② 客観的に全体知をもって日本と日本人を伝える力
③ 広い視点から物事をとらえ構想する力
④ 多様な相手と効果的に対話する力
⑤ より早くより短くより楽しく仕事を進める力
⑥ グローバルな視座で、歴史、哲学、宗教などの文化的教養を高める力

（事務局）なるほど。ほんの一部伺っただけでも、私達のように外から日本を見る者にとって、「日頃なんとなく感じていたことが上手く整理されている」と思えます。実際どのように本の中で分析されて、アドバイスされているか楽しみです。読者からの反響はいかがですか？

（永田氏）お陰様で多くのポジティブな声をいただいています。ある方は「読書とは著者との対話である」と聞いていたが今まで経験したことはなかった。ただ、この本を読んで初めてそれを体験した。実際に著者と会って対話したくなったとのメールをいただきました。嬉しい限りです。

永田 公彦氏【略歴】
Nagata Global Partners代表、INALCO非常勤講師
日本でJTBに13年務めた後、1歳の長男を連れ家族でフランスに移住。リヨン経営大学院で修士号を取得後、フランスの公的機関のマネジャー、医療系中小企業のトップを経て、20年以上にわたり欧州、日本、アジア各地で国際事業経営分野の調査・戦略コンサルティング・教育に携る。リヨン第二大学、パリ・ドフィーヌ-PSL大学（旧パリ第9大学）の非常勤講師、北九州市立大学特任教授を歴任。執筆多数（書籍、記事、オンラインコラム、学術研究）、講演・学会発表多数（欧州アジア研究所、ソニーグループ本社、フランス銀行等）URL : https://www.nagata-gp.com/